

R6 年度県新人大会 広島地区予選会 監督会議資料（事前配布）

1. 受付確認

各日程・会場において、本部席で受付をしてください。棄権がある場合は、この時に申し出てください。

2. 選手の棄権について

前日までに分かっている棄権につきましては、沼田高校の麻田までご連絡ください。当日の棄権については、受付時に進行係または記録係の先生に連絡して指示を受けてください。

3. 応援の生徒および観客について

- (1) 今大会は応援の生徒および保護者等の入場を可とします。ただし、各会場とも「会場使用上の注意」を遵守するよう、各校顧問の先生方は生徒を通じて十分にご指導ください。
- (2) 今大会会場となる安佐南区スポーツセンター・安佐北区スポーツセンターは、いずれも駐車スペースが限られているため、**保護者等の駐車スペースはありません**。あらかじめご了承ください。

4. 試合進行について

- (1) 本大会は、令和6年度（公財）日本バドミントン協会競技規則および大会運営規程、公認審判員規程に則って行います。
- (2) ダブルス・シングルスともに21点3ゲームマッチで行います。
- (3) ゲーム間のインターバルは2分、11点でのインターバルは60秒です。主審はストップウォッチで時間を計ってください。
- (4) 同一選手のマッチが続く場合は、10分間のインターバルを設けます。
- (5) いずれの種目も3位決定戦を行います。
- (6) 進行状況を予想することは難しいのですが、1日目に男女ともダブルスの決勝までと、シングルス2回戦までを行う予定です。（時間に余裕があればシングルス3回戦まで行います。）進行の状況によっては、予定された試合を当日中に消化できない可能性があります。終了時刻が遅くなることが予想される場合には、各会場とも17時をめぐりに最終コールについて連絡しますので、それまでは勝手に判断して帰ることの無いようにお願いします。
- (7) ミスジャッジなどによるトラブルを避けるため、可能な限り初心者の1年生等、経験の少ない選手に審判をさせることは避けてください。また、審判（主審・線審）の心得やマナー等については、各校で十分にご指導ください。
- (8) 審判は敗者審判性で行います。試合に負けた選手は、試合終了後すみやかに審判用紙を本部席に持ち帰り、そのコートでの次の試合の審判を、責任をもって務めてください。審判は原則として主審1名、線審2名、得点板係1名の計4名で行います。自校で人数が足りない場合は、まずは交流のある他校に補助を依頼するか、得点板係と線審を兼ねるなどの対応をしてください。それでも人数が足りない場合は本部席に申し出てください。

5. 使用シャトルについて

- (1) 使用球は（公財）日本バドミントン協会第一種検定合格水鳥球（3番）です。練習球を使用することが無いように、選手と審判は必ず確認をしてから試合を開始してください。
- (2) シャトルは各校持ち寄りをお願いします。本部へのシャトルの提出はありません。また、本部席で回収もしませんので、試合後に対戦校どうして分けて持ち帰ってください。

6. 会場使用上の注意

当日は一般利用者が同施設を利用されますので、事前に配付している各会場の使用上の注意をよく読み、一般利用者に迷惑がかからないようにしてください。顧問の先生を通じて、選手や保護者の方等にも十分に内容を周知してください。以下、注意事項を列記します。

- (1) 学校の代表として出場している自覚を持って行動すること。
- (2) 会場内では土足と体育館シューズの区別を徹底すること。
- (3) 練習はホールや館外など禁止されたエリアで行わないこと。
- (4) 貴重品や持ち物の管理は各校で責任を持つこと。持ち物には記名し、紛失や盗難を防ぐこと。
- (5) ごみの持ち帰りを徹底すること。観客席や帰路に、絶対に放置や投棄をしないこと。
- (6) 引率の先生や保護者の方に置かれましては、車での来場について、各会場の指示に従うこと。また、駐車は決められた場所を守り、事前に配付した駐車券を提示すること。

7. 県大会への出場について

男子・女子ともそれぞれ、次の成績のものが県大会出場の資格を有します。

ダブルス上位32組

シングルス上位40名

シングルス県大会出場選手（33位～40位）の選出方法について

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">① ベスト32を選出するマッチで敗戦した選手のうち、ゲーム率の高い選手から選出する。
例) 1ゲーム取得して負けた場合 $1 \div 3 = 0.33$
ゲームを取得せず負けた場合 $0 \div 2 = 0$② ベスト32を選出するマッチで敗戦した選手のうち規定の①で同率であった場合、取得得点の総計が多い選手を選出する。
ただし、ゲーム途中の故障で棄権となった場合は、棄権したサイドの得点は故障発生時の得点を生かし、その後相手の勝利が決定するまで、相手が連続して点を取ったことにする。③ 規定①、②でどちらも同点となった場合は、該当選手のひと試合前の結果を④、⑤の規定に照らし合わせる。④ ベスト32を選出するマッチのひと試合前のゲーム率の高い選手から選出する。⑤ ベスト32を選出するマッチのひと試合前の総失点数が少ない選手から選出する。⑥ ①から⑤の規定に照らし合わせ、同点であった場合は抽選とする。 |
|--|

8. (公財)日本バドミントン協会登録および服装・ゼッケンについて

- (1) 未登録の選手は出場権がありません。必ず登録を行ってください。
- (2) 競技時の選手の服装は、(公財)日本バドミントン協会検定合格品とします。ただし、大会に初めて出場する選手などで、今大会までに検定合格品の準備が間に合わない場合などは、学校の体操服での出場も可としますが、Tシャツでの出場は認めません。いずれの場合も、ゼッケンの着用を忘れないでください。忘れた場合は各自が紙に書いたもの等で対応してください。
- (3) 監督、引率者の服装についても、指導者としてふさわしいものでお願いします。

9. その他

男女各種目とも5位(ベスト8)まで賞状があります。該当する選手は忘れずに受け取ってお帰りください。